

全國保育大會に就て

氏 原 銀

昨冬帝國教育會の主催で、全國保育大會が盛大に開催された狀況は、舊冬十二月號の幼兒教育誌上で、會員諸氏に御承知の事ならん。其際は私の如き幼兒教育上に何等功績なき者をいと厚き優待を辱ふした事は、老後の光榮此上もなき感謝に堪えず。就きては私の我國に於ける、最古の保育者の一人として、聯今昔の感想を述べんに、今より五十六年前の明治九年の秋、官立幼稚園として東京女子師範學校附屬幼稚園が創設せられ、夫れより四年目の明治十二年に、大阪府立幼稚園と鹿児島縣立幼稚園の二つの設立あり、翌明治十三年には、我國最初の公立園として、大阪市に愛珠幼稚

園と仙臺市木町通幼稚園の二つの設立あり。夫れより全國に漸く公私立幼稚園の設立ありしも、明治十六年に至り、幼稚園の總數は僅かに十一園となり、明治十八年に至り三十の幼稚園數となり、夫れより五十年目の昭和元年に至り九百三十三の園數となり、昭和三年度の調査にては一千二百九十四園となれり。昭和六年の今日にては尙園數の増加したるべく、其他托兒所又は農繁托兒所としての保育場を合計する時は、其數は二千に達すべく、斯く幼兒教育の普及せし折柄、全國保育大會開催の盛況の有様を、五十六年前我國幼稚園創立當時にありて、幾多の配慮を以て盡力せられし、

東京女子師範學校の中村攝理園監事松野豊田近藤の三保母の五先生方に御覽に供して、今日保育事業の進歩發達の状態を親しく御視察を願ひて、御満悦のさまを拜し度も、今は豊田英雄先生のみ御健在で、他の四先生は數年前永眠相成りて、之れを爲すに由なき事の遺憾の極みなり。此際豊田先生を會より招待すべく相談の有りし事ならんも、先生は八十五歳の高齡にて單身御出京の出來兼ね尙視力も弱くなられし上に歩行も運びにくくならし事として、來會の事は却て御迷惑と察して招待の事は見合となりしと推察せり、私は老體なるも幸にして此盛會の席末に列せし事を限りなく感激する次第なり。

以上我國幼稚園創立以來今日に至る五十餘年間の長き歲月に於ては、其從事者は諸種の方面に對し忍耐と努力を拂はれし事ならんも、近時其基礎學科の研究により、保育事業は大に進歩發達し、

其保育振りは歐米の幼稚園に比して遜色なしとの事を、昨年歸朝せられし、猶崎博士より承りたるもの之れは博士が歸朝後、在東京の優秀なる幼稚園を參觀せられての御意見なるも、我保育者に取りては大いに意を強くするに足る、尙博士は歐米の幼稚園の主義はフレノベルとモンテッソーリの兩様を併用せりと言はれたり、尙今日歐米の教育者の研究は哲學的に人間を見たる方針により、深刻化し來れり、依て此考を以て進まん事を警告せられたり、尙歐米の學者は世の犯罪者を無くするには、幼時期の境遇と教育の如何に出發點を置くものに有る事を一致せり、年長じては我等骨を折りて導くも効なしと。益々幼兒教育の必要を認む。又幼兒心身の活動性に満足を與へんとして其行動の如何を省みず、放任主義を以て之れが抑制を加へざるは、恰も動物の活動に類するもので教育の本分に非ず宜しく制裁を加ふべしと。明治十二年

我國第二番目の幼稚園として、大阪府立園の開業式後當時の知事渡邊昇氏は、教育は嚴正の意義を離れざる考を以て任に當れよと訓戒せられたり、依て大阪府に於ける三十年間の在職中は此意を尊重して従事せり時に嚴に過ぎたりと思ひし事もありしが、幼兒の爲と思ひてなせし事もありし。

帝國教育會に於ける全國保育大會の祝賀會場は、其廣き室内も處狭き迄に、食卓の排列せられ、約五百に近き會員一同の乾杯の歡聲は室の内外に充溢す、昔時の思ひ出に古き保育者諸氏の舊唱歌民草の合唱あり、其遊戲の手振りは神戸幼稚園望月氏の演ぜられ大喝采なりし。茲に其舊唱歌民草を現代の譜に譯して左記す何卒御試みありて昔時の俤を味はれたし。

舊唱歌 民草 一段二等伶人東儀季芳選譜^{一越調}
律旋
 たみくさの さかゆるときと なはしろに み
 つせさいれて みしめなは ゆたにひきはへ

4/4 は 調 民 草 一 段

6 6 5 5	6-0-	5 5 3 3	2-1 2	3 3 5 5
タミクサ	ノ	サカユル	トキト	ナハシロ
6-0-	5 5 3 3	5-3 3	2 2 2 1	2-0-
ニ	ミヅセキ	イレテ	ミシメナ	ハ
1-2 2	6 6 5 5	6-5 7	6-5-	3 3 5 6
ユタニ	ヒキハヘ	ヤツカ	ホノ	タリホノ
6.5 6 5 6	5-3-	5 5 3 3	2-0-	1-2 2
イ-----	ネノ	トシアラ	ン	ココロ
3-5-	6.5 6 5 6	5-3-	2-2 7	6-5-
タ---	ノ-----	ミチ	イ---	マ---
3-5 3	2-2 1	3-2 1	2-2 1	2-0-
オ---	ロ---	ス---	ナ---	リ

やつかほの たりほのいねのとしあらん こころたのみをいまおろすなり

舊唱歌 民草 二段

わたすみゆ きみのためとや
 さとのこか ものすそぬらし たまなへをうゑ
 くにてのためとや

三段より七段迄を省く

4/4 は調 民草 二段

6 6 5 3	2-0-	1-2-	3-5 3
サトノコ	カ	モ	ノ---
6.5 6 5 1	5-3-	5-3-	2-0-
ス---	ソ-	ヌラ	シ
1-2 2	6 6 5-	6-6 5	3-5-
タ--マ	ナヘナ	ウヘ-	ワ-
3-5-	6.5 6 5 6	5-3-	2-0-
タ-	ス---	ミ-	ヌ
1-2-	1-2-	1-1 7	6.5 6 5
キ-	ミ-	ガ--	タ---
6.5 6 1	2-2 1	2-0-	6-6-
メ---	ト--	ヤ	クニ
5-3 5	6-5 3	2-2 1	2-0-
ノ--	タメ-	ト--	ヤ

舊唱歌 民草 八段

すらかき みよのめくみは めてたさるかも
 ちとろに うたひつつ ちとろをみれば さと
 ちこちに にははひみちて みたみらか さと
 ひすのすすをたきこらす かまとのけふり お
 とよとしの みとしにあひて やつかたる に

4/4 は調 民草 八段

3 3 5 5	6-0-	5 5 3 3	2 2 1-
トヨトシ	ノ	ミトシニ	アヒテ
6 6 7 7	2-0-	2-2 1	2 2 1-
ヤツカタ	ル	ニヒスノ	ヌスタ
6 6 5 3	2-0-	3 3 5 5	6 6 5-
タキコラ	ス	カマドノ	ケフリ
1 1 1 1	2-0-	2 2 7 7	6 6 5-
オチオチ	ニ	ニギハヒ	ミチテ
3 3 5 3	2-0-	1-2 2	6 6 5 5
ミタミラ	ガ	サトモ	トドロニ
6-5 6	1-2-	2 2 2 7	6.5 6 1
ウタヒ	ツツ	エラグチ	ミ--レ
1-0-	2 2 3 3	2-0-	2-2 1
バ	ヤスラケ	キ	ミヨノ
2 2 7 7	6 6 5 3	2-2 1	2-0-
メグミハ	メテタキ	ロカ-	モ

(昭和六一月氏原記)